

# くにびき通信

2026年度 第4号

(6月8日～7月19日)

大田市山村留学センター 三瓶こだま学園

はじめに

暑い暑い夏がやってきました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

学園生が帰省した後、学園では夏の短期山村留学がスタートしました。今年は13日間の長期コースと5日間の自然体験コースを実施。セミの声にも負けないくらい元気いっぱいの子もたちを前に、早々に「学園生、帰ってきてー!」と、いつもの顔ぶれが恋しくなっていました。厳しい暑さが続く中ではありましたが、天候にも恵まれ、ほとんどの活動を予定通り行うことができました。短期活動にご協力いただいた地域の方々をはじめ、関係者の皆様、本当にありがとうございました。

短期活動を終え、学園はしばし静かな時間を迎えています。学園生が帰ってくるまでに、たまった仕事を一つずつ片付け、2学期に向けて気持ちも環境も整えていきたいと思っています。また元気なみんなに会える日を楽しみにしています。

大田市山村留学センター  
指導員 土本 愛果

## 活動カレンダー

|          |                          |                 |                       |
|----------|--------------------------|-----------------|-----------------------|
| 6月13日(土) | 昔の生活体験<br>(PTA共催)        | 7月4日(土)         | AM:大掃除<br>PM:裏山デイキャンプ |
| 14日(日)   | そば打ち                     | 5日(日)           | ゆうプラザ                 |
| 20日(土)   | ジャム作り・クラフト<br>(第1回日帰り体験) | 11・12日<br>(土・日) | 島津屋海キャンプ              |
| 22日(月)   | 農家入り                     | 17日(金)          | 終業式                   |
| 29日(月)   | センター入り                   | 18日(土)          | 五十猛祭り                 |
|          |                          | 19日(日)          | 帰省                    |

## 昔の生活体験

6/13（土） 晴れ



親子活動 1 日目は、PTA 共催活動として、地元の子どもたちと一緒に佐津目の「子ご美の里」で昔の生活体験を行いました。

今回は、受け入れ農家でもある矢田家の皆さんに教えていただきながら、「羽釜ご飯」「豆腐」「こんにゃく」の 3 つのグループに分かれて調理に挑戦しました。羽釜ご飯では水加減や火加減を教わり、火の様子を見ながら炊き上がりを待ちます。豆腐やこんにゃく作りでは、普段何気なく食べているものが少しずつ形になっていく過程に、たくさんの発見がありました。豆腐作りに欠かせない「にがり」を味見し、思わず顔をしかめる子もいました。こんにゃく作りでは、なかなか固まらず一苦労。子どもたちが代わる代わる交代しながら、一生懸命に混ぜ続けました。

すべて完成したところで、みんなで盛り付けをして、待ちに待った昼食です。羽釜で炊いたご飯は、おこげまで香ばしく、出来たての豆腐とこんにゃくも絶品。自分たちの手で一から作った料理を、みんなおいしそうにたくさん頬張っていました。

昔ながらの知恵や手仕事に触れ、普段口にしている食べ物ができるまでの手間や工夫を知る貴重な一日となりました。丁寧に教えてくださった矢田家の皆さん、ありがとうございました。



## そば打ち

6/14（日） 晴れ



親子活動 2 日目は、そば打ちに挑戦しました。午前中には奉仕作業として通学路の清掃を行っていたため、作業を終えると早々に準備をし、少し慌ただしい中でのスタートとなりました。

今回は、地元でそば店を営んでいる講師の方をお招きし、そばの打ち方を一から教えていただきました。まずはお手本を見せてもらいます。次々と工程を進めていく講師の見事な手つきに、子どもも大人も釘付け。あっという間にきれいなそばが出来上がり、さすがの腕前に驚かされました。「あんなふうにはできるかな」と少し不安を抱えながら、今度は子どもたちと保護者の皆さんが挑戦。「こうだったよね」と





先ほどのお手本を思い出しながら、親子で声を掛け合って作業を進めました。思うようにいかないところは講師の方に助けてもらいながら、最後まで諦めず、一つひとつの工程に取り組みました。

そして、いよいよ自分たちで打ったそばを実食。苦労して作ったそばの味は格別で、食卓を囲みながら楽しい団

らんの時間を過ごしました。講師の方が打ったそばとの食べ比べも行い、「全然違う！」と、その味や食感の違いに驚く姿も見られました。三瓶そばのおいしさはもちろん、一杯のそばが出来上がるまでにかかる手間や難しさも知ることのできた体験となりました。



## ——ジャム作り・クラフト体験（第1回日帰り体験）——

6/20（土） 雨



今年度初めてとなる市内募集活動を行い、保護者の方を含めて10名の皆さんが参加してくださいました。当日はあいにくの雨。本来はジャムの材料となる木の実を探しに出掛けたり、棒パン作りや五右衛門風呂を体験したりする予定でしたが、残念ながら断念。そこで室内を中心に、いちご・びわ・梅の3種類のジャム作りを行いました。

市内の子どもたちと学園生が一緒になって4つのグループに分かれ、それぞれ協力しながら調理を進めました。梅の種を舂めてみて「酸っぱい！」と思わず顔をしかめる子も。

ジャムが完成した後は、クラフト体験へ。バードコールやキーホルダーを作ったほか、中にはマジックハンドを作る子もいました。木を切る作業では、難しそうにしている子に代わって切ってあげるなど、活動を通して自然と助け合う姿も見られました。

最後は、お待ちかねのおやつタイム。パンケーキに午前中に作ったジャムを添えていただきました。3種類すべてをたっぷり塗って味わう子もあり、みんなおいしそうに頬張っていました。予定していた活動とは少し違う一日になりましたが、雨の日ならではの活動を通して、新しい仲間と交流しながら楽しい時間を過ごすことができました。



---

## 大掃除

---

7/4（土） AM:雨

この日は海水浴を予定していましたが、あいにくの雨予報。そこで予定を前倒しし、午前中は1学期間お世話になったセンターの大掃除を行いました。

今回は3つのグループに分かれ、部屋や階段・廊下、保健室、窓など、普段の掃除ではなかなか手の回らない場所を中心にきれいにしていきました。楽しみにしていた海水浴がなくなり、最初は残念そうな子どもたちでしたが、気持ちを切り替えると、それぞれの持ち場で掃除に励んでいました。

約3時間にわたる大掃除。途中の休憩では床に大の字になって寝転び、「疲れたー！」と声を上げる姿もありました。それでも休憩を終えると再び作業へ戻り、最後まで集中して取り組みました。

毎日当たり前のように生活しているセンターも、こうしてみんなで手をかけることで気持ちのよい空間が保たれています。1学期間お世話になった場所への感謝も込めながら、隅々まできれいにすることができました。



---

## 裏山デイキャンプ

---

7/4（土） PM:雨



午前中に続いて雨となったこの日。午後は魚津での自炊活動を予定していましたが、場所を変更し、裏山で自炊活動を行いました。この日のメニューが「焼きそば」と発表されると、子どもたちからは「いえーい！」と喜びの声が上がりました。

マッチを使った火起こしにもすっかり慣れてきた子どもたち。そこで今回は少し難易度を上げ、チャレンジの回としました。マイギリ式やきりもみ式での火起こしに挑戦する子はバディで、マッチを使う子は一人で火を起こすことにしました。

ところが、時間が経つにつれて雨風はますます激しくなっていきます。何もかもが湿っているため、せっかく火がついてもなかなか育たず、すぐに消えてしまいます。普段ならできることも、この日の火起こしはまさに“ハードモード”。子どもたちは限界まで粘りましたが、天候には勝てず、途中から車庫へ移動して自炊を続けることになりました。

そんな厳しい条件の中でも、裏山で最後まで火を守り、焼きそば作りに成功した子もいました。思うようにいかない経験も、自然の中で活動するからこそ得られる学びの一つです。天候や環境によって火の扱いが大きく変わることを実感し、キャンプの技術を一つ深める機会となりました。





# 島津屋海キャンプ

7/11・12(土・日) 晴れ



待ちに待った今年度初めての海の活動。ようやく天候にも恵まれ、穏やかで透き通った海が子どもたちを迎えてくれました。今回は島津屋の海岸を舞台に、1泊2日の海キャンプを行いました。

到着すると、まずは自分たちが泊まるテントを設営。準備を済ませ、午前中は海水浴を楽しみました。泳いだり、海へ飛び込んだりと、前回の活動では十分に楽しめなかった分まで取り戻すかのように海を満喫する子どもたち。少し水が冷たく、なかなか海に入れない子もいましたが、それぞれのペースで楽しんでいました。

昼食と休憩を挟み、午後からは夕食に使う獲物探しです。海の中をのぞき込みながら、魚などを求めて必死に探しましたが、思うようには見つからず、収穫のほとんどはボベ貝。それでも、自分たちで獲った海の恵みと持参した野菜を使い、バディごとに夕食作りを始めました。これまで何度も自炊活動を経験してきたこともあり、火起こしの手つきもすっかり頼もしくなりました。すべての班が明るいうちに調理を終え、獲った獲物などを入れた海鮮ラーメンが完成。海に沈んでいく夕日を眺めながら、自分たちで作った夕食を味わいました。



夕食と片付けを終えた後は、夏らしくスイカ割り！みんなで盛り上がり、海辺の夜を存分に楽しんでから、それぞれテントに入って休みました。

2日目は、起床後に班ごとに朝食を作り、片付けを済ませて再び海へ。最後の海水浴では、防波堤から回転しながら豪快に飛び込む子、泳ぎながら魚や貝、ヒトデを探す子、きれいな石を集める子、浮き輪に乗ってのんびり海を漂う子など、楽しみ方もさまざま。中には小さなサメを発見した子もお

り、海の生き物との出会いにも大興奮でした。

午前中いっぱい海を満喫した後は、センターへ戻って最後の片付けです。2日間使ったテントや食器などを、疲れている中でも最後まで手を抜かずに片付けました。海で遊ぶだけでなく、テント生活や自炊、片付けまで自分たちの手でやり遂げた2日間。天候にも恵まれ、夏の海を存分に味わうキャンプとなりました。





## 五十猛祭

7/18(土) 晴れ



この日は五十猛漁港で行われた「五十猛祭」に、北三瓶っ子太鼓クラブとして参加し、太鼓の演奏を披露しました。

今年度2回目となる発表ですが、新入園生や今年度から太鼓クラブに入った子どもたちにとっては、今回が初めての舞台。この日に向けて、日々練習を重ねてきました。本番を前に少し緊張した表情を見せる子もいましたが、いざ演奏が始まると、大きな声を出しながら元気いっぱいに太鼓を打ち、練習の成果を発揮することができました。

太鼓の発表を終えた後は、ビンゴ大会に参加したり、漁船に乗せていただいたりしました。航海中にはトビウオを発見し、大興奮。楽しい時間はあっという間で、港へ戻ると「えー、もう終わり？」と、船から降りるのを名残惜しそうにする声も。太鼓の発表だけでなく、地域の方々との交流や海での体験も含め、思い出に残る一日となりました。



## 日常のひとこま



## 職員のつぶやき

昨秋、センター裏山から長久町の自宅庭にクロモジの幼木を移植しました。三瓶以外の地でクロモジが育つか？という実験でしたが、早々に枯れた…。実験失敗と思いきや、半年後から葉が付き、今は何とも涼しげ＆かわいらしい姿に。早朝、庭木に水をやる時間がとても楽しいです。みんな暑さに負けるな！

センター長：桑野尚宜

夏短期留学の長期コースが始まりました。12泊13日の長丁場なので、そこそこ心得のある子供が来るものと思っていたのですが、中々の強者（色んな意味で）揃いで驚きました。とは言え、子供の適応能力は大したもの、日々の活動をこなす度、着実に成長するのを実感しました。この中から1人でも多く1年間の長期留学に来てくれるのを心待ちにしています。

主任：竹下健

自宅で育てている夏野菜たちがすぐに大きくなるので、せっせと収穫し、きゅうりは浅漬けに、ナスは煮浸しにして食べています。このナスの煮浸し、自分でも「なかなかいけるんじゃないか」と思えるくらいに手軽で美味しいレシピに出会い、子どもも喜んで食べてくれます。少しずつ料理をする人の気持ちが分かってきたかも！？

指導主任：稲井祐介

カエルがかわいい。5月29日に山口町内で発見したアルビノのアマガエルを飼育しています。カエルの飼育は初めてだったので環境や餌も手探りでしたが、もうすぐ2ヶ月。最近は畑でとったコオロギを元気に食べています。近々大きいケースにお引越し。気に入ってくれるかな？

指導員：浅平泰地

怒涛の短期が終わりました。短期活動はこれまでも経験してきましたが、13日間の長期コースは初めてのこと。その圧倒的な長さに打ちひしがれましたが、続く自然体験コースではようやく調子もあがり、短期仕様の体に無事変身。どうやらまだまだ修行が足りなかったようです。

指導員：土本愛果

一学期も終わり、学園生は皆、無事に帰省しました。今年の夏も短期活動が始まりました。沢山の子供達やスタッフが参加するこの行事は、大変な事もありますが、自分にとっては、人と接する事が出来、色々な気付きがあり、アドバイスが頂けて成長出来る活動となりました。この場を借りて、皆さん、お疲れ様でした。

調理：細川志津子

## 「くにびき通信」2026年度 第4号



大田市  
山村留学センター  
Sanbe Kodama Academy



大田市山村留学センター  
公式ホームページ



バックナンバー

〒694-0002 島根県大田市山口町山口1694

TEL: 0854-86-0700 FAX: 0854-86-0701 Email: o-sanryu@city.oda.lg.jp